



用轆監溺蒜還添ぶ尋

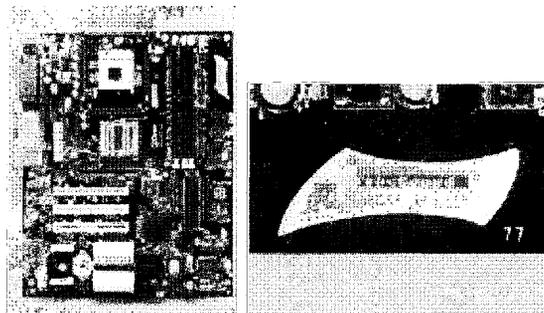
## 繡梶ノ木隆のPC実験室撃

### 真空管アンプ搭載マザー「AopenAX4B533 - TUBE」を試す

今年6月のCOMPUTEXTAIPEIでAOpenのブースに展示され、その発想の奇抜さで話題を集めたのが「AX4B - 533Tube」である。一見通常のアンプに見えるが、オーディオのアナログ出力に真空管を利用したアンプ搭載するという、非常に「アナログ」なマザーボードである。その効果はいかほどなものか、という事で早速ためしてみた。

#### マザーボード上に真空管アンプを実装

AOpenから登場した毘弧迫は、同社製品であるAX4B鵬533（日本では未発売）をベースとし、サウンド出力部に真空管アンプを搭載したPentium4 / Celeron向けマザーボードである。真空管を使ったオーディオアンプといえば、懐かしさを覚える読者もおられるだろうが、広く普及した半導体アンプや、最近主流のデジタルアンプには無い「味」を求めて、今も一部のオーディオマニアの間では使われているし、そうした層を狙った製品や組み立てキットも今なお存在している。本製品では、PCIスロット3本とCNRスロットをAX4B - 533から取り除き、空いた場所に真空管アンプを実装。AC ' 97Codecのオーディオ出力をここに直結することで、「味のある音声出力」ができることをウリとしている。



Openの X4B - 533 デジタルとアナログの融合  
Tube , : 上部3分の2をを成功させたことを示す  
見れば普通のATX「TubeSound  
マザーだが、下部がTECHNOLOGY」のエンブレム  
ちょっと異様な光呆 レム

【追記】秤出時にコニンプレムの数字がシ平子ルナンバ...・・・であもう、という託軌翔) ! : ほしたが 篋者ふら同  
号の音 辛を持ってい竜王い、三ご教示が さ、巧度した、ノ)て削騒いたしました

なお、本製品は現在では入手がかなり困難となっている。それもそのはずで、本製品はAOpenの、地で「100枚限定予約販売」という形態を取られたからだ。本来は日本市場に投入するつもりがなかったため、このような限定販売になったそうだが、それだけ日本国内での販売を望む声があったということだろう。購入価格は25,000円（その後米国からの直輸入品が秋葉原の店頭でも並んだ）。

真空管アンプ搭載という時点で、イロモノ的な匂いがしてくるこの製品だが、限定予約販売というオマケがついて、さらに食指を動かされる製品となっている。マザーボード上には真空管アンプ搭載をア